

前原地区市政懇談会記録

開催日時

平成 16 年 7 月 31 日（土曜日）

開催場所

東部公民館 講堂

質問事項

[防犯カメラの設置について](#)

[津田沼駅前交番の設置について](#)

[成田街道入口交差点について](#)

[防災無線のスピーカー設置について](#)

[前原団地の建て替えについて](#)

[\(1\)前原団地建て替え計画戸数について](#)

[\(2\)建て替え後の余剰地の利用について](#)

[\(3\)団地内交番の建設について](#)

[\(4\)市営住宅建設計画について](#)

[道路整備について](#)

[保育園の民間委託について](#)

[下水道整備について](#)

[東金街道の大型車両通行について](#)

[成田街道の歩道整備について](#)

[公園整備について](#)

[東部公民館の建て替えについて](#)

[地方交付税について](#)

[工場誘致について](#)

[船橋市の特性について](#)

防犯カメラの設置について

質問

前原地区では、平成 13 年 12 月に派出所が繁華街や金融機関の多い津田沼駅北口から南口に移転して 2 年半程経ちますが、やはり治安が悪化しているというのが我々の率直な印象であります。この数年、暴力団の進出とか、外国人エステの強引な客引き関与、薬物売買、傷害事件等が目立っております。非常に懸念材料の絶えない地区だと思っております。市長さんのお話にもありましたが、「自分たちの街は自分たちで守る」、我々が行政や警察と共に働く、協働の

考え方で、自治会、市民の会、PTA、暴力団排除連絡協議会、食品組合、商店会等沢山の団体が地域パトロールや環境整備などを続けております。その活動の一環といたしまして、防犯カメラの設置を協議し、「津田沼駅前地区・前原地区防犯カメラ設置推進委員会」を立ち上げました。現在、規約の整備、機器の検討、ソフトの検討、ワンコイン作戦等で協賛活動をスタートしています。内容は駅前を中心に防犯カメラを33台、予算規模2,400万円位になろうかと思うのですが、機器整備を年内に完成出来ないかということで活動を進めております。しかし、これを継続的に活用して行くためには、どうしても行政からの長期的なご支援が必要ではないかと思っております。この機会に是非、前原地区の治安の現状をご確認いただき、強力なバックアップをしていただきたいと思いますと思っております。

回答

防犯カメラの設置につきましては、私どもも前向きに捉えてはおります。しかしながらプライバシーの問題がありますので、そういった点を担当課と詰めていただければ有り難いと思います。

また、防犯カメラを付けた後、これを維持して行くということは商店街の皆様方も色々大変な面も出てくるということもあるでしょうから、そういった点におきましても、担当課とよく詰めていただいて、最終的には私どもも応援をしてみたいと思います。

津田沼駅前交番の設置について

質問

駅前の交番の件であります。防犯カメラ設置と併せまして北口に交番を復活出来ないかというお願いであります。既に東警察署の署長さんをはじめ市民防犯課の方々、既にお話が進んでいると伺っております。現在、ペDESTリアンデッキの下が一応の候補地として挙がっており、何とか最終段階に近づくのではないかと期待をしております。市長さん、市役所職員の皆様のご理解と強力なご支援をお願いしたいと思います。

回答

駅前の交番であります。当初、ペDESTリアンデッキの下では上からの投石とか、そのようなものがあつた場合は危険ではないかというような警察のお話もあつた訳であります。「この場所」というようなことになってまいりましたら、私どもも一生懸命応援をしてみたいと思います。また、前原団地の方に、今、建て替えをやっておりますが、あちらにも要望がありますが、現在の駅前十字路の交番の分をこちらの駅前に持ってくると、そういった方向で検討させて貰っていると伺っておりますので、一生懸命努力をしてみたいと思

います。

要望

ご心配いただいたプライバシーの点ではありますが、私どもも非常に懸念しております。やはり、街に来ていただける方、住んでいる方のプライバシーを侵すという考え方は勿論持っておりません。自分たちの街を自分たちがお金を出して、自分たちで守っていくということで、プライバシーのご理解がいただけないかと思っております。規約に関しては現在詰めておりますし、市役所の方ともその辺りの調整を図って、皆様にご理解いただけるような形に進めて行きたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。

成田街道入口交差点について

質問

成田街道入口はご存知のように、私ども札幌町会の真ん中にあり、信号が 1 つしかないのです。成田街道と長沼線の T 字路の所に 1 つだけしかない。町会としましては、重要な位置づけをしている唯一の T 字路、信号でありますので、歩行者の安全対策をお願いします。住民はどちらへ行くのにも使う場所でもありますので、子ども、お年寄りの方が安全に渡れるように、是非ご支援いただければと、宜しく願いいたします。

回答

ご要望の道路は、国道 296 号線、通称「成田街道」、県道の主要地方道長沼・船橋線、通称「東金街道」と申しておりますが、これは県が管理する国道と県道であります。

歩行者の安全対策につきましては、色々な所で話しをさせていただく中で、これからの時代は少し車が混んだとしても、スクランブル、要は歩行者と車が完全に交差しないような方策が一番良いのだろう思うのですが、車の渋滞の問題等、色々な問題が起きることから県警の方も難しさがあるということでもあります。ただ、今後は歩行者と車両を分離して行く考え方が非常にいいと思っております。直ぐにそれが出来る訳ではありませんので、その中で通学路の標識、或いはそのようなものが出来るかどうか、考えて行きたいと思っております。

信号機の歩行者の溜まり場につきましては、現在、駐車場となっておりますので、現時点であれば何とかなるのかという考え方もありますので、県も非常に予算上厳しいということもありますが、県に要望してまいりたいと考えております。

防災無線のスピーカー設置について

質問

最近、自然災害が全国的に発生しており、当町会でも総合防災訓練に参加して防災意識の向上を図っておりますが、少子高齢化の波というのは当町会も進んでおりまして、防災の情報がいかに早く伝達されるかという迅速化が望まれているのではないかと思います。そこで、要望といたしまして、海松台公園の中に防災無線のスピーカーの設置をお願いします。現在、風向きによっては内容を確認できることもあります。殆ど分からないのが実状であります。是非、防災だけではなく幅広く利用されていますスピーカーの設置をお願いしたいと思います。

回答

防災行政無線につきましては、災害時に必要な情報を住民に伝達する機器として、現在、市内に163箇所設置されております。当前原地区におきましても8箇所設置させていただいております。また、災害情報伝達以外にも光化学スモッグの情報の警報や火災予防運動、また昨年度からは迷子の案内をさせていただいております。ご指摘いただきましたように放送の聞こえない所、または聞こえ辛い所があるのは認識しているところであります。また、各地からもそのような意見を多くあるのも実状でございます。原因としましては風向き、建物の高層化、住居の防音技術の発達、そのようなことがあります。既設の防災行政無線では、市内全域をカバーするのは現在難しいところであります。市としましても、これらの難聴地区等の解消に向け、各地の要望が強いところから、新規設置のための予算を図っておりますが、一気に全部解消という訳には行きません。確かに、当地区は前原公園と田喜野井公園の間に挟まれておりまして、エアポケットの場所であることも認識しておりますので、来年直ぐとか、今直ぐという訳には行かないと思いますが、沢山の要望が来ておりますので、何とか対応して行く予定でおります。また、防災行政無線の聞こえない所につきましては、フリーダイヤルを設けており、番号は0120-2784-61となっております。これにつきましては、「広報ふなばし」に時折掲載しておりますが、今回の8月1日号の帯の部分に掲載しておりますので、当面ご利用をお願いしたいと思っております。また、防犯情報のフリーダイヤルも併せて掲載しておりますので、その辺も当面ご利用いただければと思っております。

前原団地の建て替えについて

質問

(1)前原団地建て替え計画戸数について

前原団地は、昭和 35 年、市内で初めての公団住宅として、1, 428 戸が入居しました。ところが、住宅都市整備公団が、昭和 30 年代に建設した全国 17 万戸を建て替えると発表しました。そして、平成 7 年、県内初めての大団地の建て替えとして指定し、1, 428 戸を壊し、新たに 1, 650 戸を建設するとして事業をスタートさせました。船橋市の住宅政策にも大きな影響のある前原団地の建て替えは、入居者の高齢化や戻り入居の高家賃など問題が山積している中で、船橋市長、市議会、医師会等の力を借り、居住者の要望を国へ働き掛けた結果、制度の改善があり、平成 11 年、15 年に一般公募 200 戸を含め 550 戸が戻り、新しい生活が始まっております。しかし、その中には、「1. 戻り入居の戸数だけ建設する。2. 入居者との同意を得たうえで可能なものは棟単位で売却に努める。」との内容が示されています。将来的には私たちの公団住宅がズタズタに切り売りされ、今まで培われてきた環境が壊されることは、船橋市の街づくりにとっても重要な問題です。このままでは完成しても住宅戸数は当初の半分にしかありません。

平成 7 年に示された計画戸数 1, 650 戸の実行を、船橋市としても、都市機構へ要請していただきますようお願い申し上げます。

回答

公団による前原団地建替事業計画は、皆様方もご存知のとおり全体を 2 ブロックに分けた期別工事ではありますが、これを先行区、後工区に分けて工事を進めていることから、実際は 4 期の期別工事といってもよいと考えております。

そして、平成 10 年 8 月に着工して以来約 6 年を経過した現在は、3 期目の工事がほぼ完成し、後は都市機構の直接工事として住宅建設は、4 期目の最終計画区を残すのみとなっております。

この間、事業主体も着工当時は住宅・都市整備公団でありましたが、平成 11 年 10 月には都市基盤整備公団に、そして本年 7 月には独立行政法人都市再生機構に変わりました。建替事業もそれぞれ新しい法人に引き継がれてまいりましたが、特に現在の都市機構への移行の際は、国の構造改革の一環として特殊法人の見直しが進められた結果、賃貸住宅の建設に関して新規事業は行わないなど、事業主体に対する一定の制約が課せられたことは事実であります。

しかしながら、現在進められている前原団地及び高根台団地の建替事業は、本市の住宅政策や街づくり全体に与える影響も大きいことから、平成 14 年 10 月 10 日付けにて内閣総理大臣他関係 3 大臣に対しまして「都市基盤整備公団の事業見直しに関する要望」をいたしております。

この要望の中では、「戻り入居者用の住宅建設のみならず、地域の実情に応じて建て替え前の規模までの住宅建設が可能となるような措置を講じてほしい」ということも要望いたしております。

以上のようなことから、現時点では都市機構に要請することは考えておりませんが、冒頭に申しあげましたように、最終事業区の計画が平成17年の4月以降に示される予定になっておりますので、これを待って今後の対応を検討したいと考えております。

質問

(2) 建て替え後の余剰地の利用について

建て替えに伴い平成15年10月前原児童ホームが新築され、毎日子どもたちの明るい声が響いております。商店街は平成15年11月から営業が始まり買い物客で賑わっています。団地内の利用施設も今年11月完成に向け工事が進んでいます。団地内広場、自治会館建設についても実現に向けて担当課と話し合いを続けているところです。少しずつ新しい街が出来て、活性化してきておりますが、多くの余剰地が出る実情を踏まえ居住者や地域の人が幅広く利用出来る高齢者福祉施設、図書館、憩いの家、公園とまでいかなくても緑地等の建設を関係部署に積極的に働き掛けていただきたいとお願いするしだいです。

回答

建て替え後の余剰地の活用につきましては、先程申しあげましたとおり、最終事業計画区の計画案が未だ示されていないことや、余剰地を含めたその後の都市機構による全体の土地利用計画が明らかになっていないことから、市といたしましては、それらが都市機構から示された時点で関係各課と協議しながら対応してまいりたいと考えております。

質問

(3) 団地内交番の建設について

団地内の交番設置についてです。JR津田沼駅北口にあった習志野市の交番が南口に移転したので、北口には津田沼十字路にある交番のみとなっております。環境保全のために、北口交番が南口に移転したのを補うのが急務であるという状況は十分理解しておりますが、前原団地周辺でも「ひったくり」、「車上狙い」、「ピッキング被害」、「悪質訪問販売」「自転車泥棒」、これらが大規模住宅地の死角を付いた犯罪が急増している訳です。これらを防止するために団地内交番設置が必要であり、交番を設置していただくために敷地の確保を要望しまして、予定地が既に約束されている訳です。建て替えに際して都市機構が敷地提供を申し出ているからです。この機会を生かして、交番の設置をしていただくことが重要ではないかと思っています。これを県に強く要請していただくようお願いするものです。

回答

交番の設置要望につきましては、皆様方から平成 13 年 2 月 14 日に要望書が提出された後、速やかに船橋東警察署及び千葉県警本部に要望いたしました。また平成 15 年 9 月 18 日には、同じく船橋東警察署地域課へ交番用地について自治振興課及び都市基盤整備公団より説明を行いまして、県警本部への報告をお願いしたところであります。

なお交番の設置要望につきましては、千葉県全体で 100 箇所以上あり、船橋市としても当地区を含めまして、17 箇所を機会があることに要望いたしておりますが、何分にも県の財政も非常に厳しいということで、実現には至っておりません。交番の設置につきましては、交番管轄の事件件数や世帯数、或いは人口等を勘案するというので、船橋の要望も全県的に検討して行くということでございますが、引き続き市といたしましても、所管警察署及び県警本部に強く要望して行きたいと思っております。

質問

(4) 市営住宅建設計画について

団地内余剰地へ公共住宅の建設を要望します。市営住宅の建設予定があると聞いておりますが、建設場所、時期、戸数等、現在判明の状況をお伺いしたいと思います。

回答

市営住宅建設の計画であります。現在、位置といたしましては、33 号棟の前面に計画いたしておりますが、この計画は、市営三山団地の建替計画の移転用住宅として建設するもので、規模は 1 棟 60 戸分の住宅を建設する予定であります。

年次計画といたしましては、今年度中に基本設計と実施設計を行い、現時点では平成 17 年度、18 年度の 2 ヶ年で建設工事を行う予定としております。

道路整備について

質問

習志野市に「イオン」が開店し、グリーンハイツの方から駅へ向かう路線バスがその道路を通ることになりましたので、大変交通量が増えました。この道路は細くて、また、都市計画道路であるということは、私たちは承知してこの場所に住んだのですが、この都市計画道路の実施が大変遅れており、当分実施出来るような状況ではないということは十分わかるのです。また、特に歩道が道路の片面にしかありませんので、住民としては片面の歩道だけでもいいから電柱等の障害物をなくし、少なくとも自転車と歩行者がぶつかって危なくて歩けないという状況でありますので、その点を解消していただきたい。

回答

「イオン」が出来たことにより、交通渋滞が発生しているということは我々も十分認識しております。交差点の改良、右折レーンの設置等が、渋滞に対して非常に効果があるであろうと考えており、改良すべき交差点であると感じているところでもあります。そのような中で都市計画道路となっておりますので、それについては考えて行かなければならないと思っております。当該地は県道の長沼・船橋線、通称「東金街道」と都市計画道路が交差する場所で、都市計画道路だけを広げれば良いという訳には行かないことから、その辺を県と協議しながら対応していかなければならないと考えております。現況の中で、部分的に整備出来ないかということで地権者に協力をお願いしておりますが、地権者の協力が得られないと、なかなか道路を両側に広げられないのが現状です。だからといって広げて行かないという訳ではありません。現在、船橋市の中で52路線計画道路があり、そのうち37.8パーセントの都市計画道路の整備状況ですが、今後も都市計画道路を整備することにより、歩行者と車両の区別がされ、広い歩道が整備されることとなりますので、逐次進めて行きたいと考えております。

教習所前の道路につきましては、確かに歩道が狭く、電柱が部分的に立っておりますが、地権者の方々が非常に協力的で、電柱を民地の方に入れさせて貰っている所があります。しかし、何件かは歩道上に立てざるを得ないという所があります。我々は狭い歩道でも、そのようにして電柱を民地へ入れていただければ、その分、歩道を有効に使えることから、東電を通じて、或いはそのようなところで色々お願いをしております。当場所は狭くても歩道がある訳ですから、その歩道を歩きやすい歩道にして行きたいと考えておりますし、計画もしております。しかし、現在、ご存知のように公共下水道の工事が入っておりますので、工事の進捗状況を見ながら対応して行きたいと考えております。部分的に非常に悪いということでありましたら、そのような部分については直して行きたい。また、スピードが少しでも出ないようにということで、教習所のあたりに「イメージハンプ」というものを施工しておりますが、なかなか効果がでないというのが現状ですので、現歩道の中で歩きやすい歩道にして行くという、整備方法を検討してまいります。

保育園の民間委託について

要望

船橋市では昨年7月に「財政健全化プラン」により、公立保育園の民間委託計画が発表され、その後、保育園に子どもを預ける保護者への十分な説明や調査がないまま計画を進めているように見受けられます。これらの動きに関して、

保護者の間では非常に大きな不安が広がっております。昨年9月3日、行財政改革推進室長からいただきましたメールでは、「仮に保育園を委託するとすれば別の場で充分審議し、また、父母会等にも十分説明して行う事となると考えております。」とのお答えでありました。ですが、それ以来、保護者等への説明は無いままであります。また、昨年12月の行財政改革推進室長や保育課との懇談会では、コスト削減に繋がらない民間委託化は行わないと断言しておりましたが、一方で試算の結果は市民には公開されておられませんので非常に不透明であると考えております。二宮保育園父母会では、以上のことから要望書を作成して、この場で提出させていただきたいと考えておりますので、どうぞお受け取りいただきたいと思います。

要望書を読ませていただきます。いつも船橋市行政の運営にご尽力いただきまして厚くお礼もうしあげます。日頃から私どもは船橋市立二宮保育園の利用者として市、そして保育園からも多大なるご支援をいただき感謝いたしております。ところが今船橋市では、公立保育園の民間委託計画が発表され、保育園に子どもを預ける保護者への十分な説明や調査が無いまま、民間委託計画を進めているように見受けられます。

これらの動きに関して保護者の間で非常に大きな懸念と、今後の動向に関する不安が広がっています。船橋市の公立保育園の保育水準は、保育士の加配、障害児保育、アレルギー対応給食、産休明け保育、看護師、栄養士、用務員の完全配置等、他市に比べ高い保育の質であり、これらは過去の職員、父母、行政の並々ならぬ努力によって作り上げられて来たものです。将来を担う子どもたちにとって、子どもたちの健やかな成長のためには公立保育園は無くしては成らない存在であり、保護者が安心して仕事ができるのは、日々の市、保育園の多大なる支援と保育士の安定した生活が、子どもたちに対する暖かい保育に繋がっているところによるものと考えております。

少子高齢化社会を向かえ女性の社会進出が進んでいる中で、子育て世帯の就労を支え子どもの育ちを保証することは、船橋市の発展のため、また今後の財政を支えるために必要不可欠であり、公立保育園の役割は就労世帯の子どもたちの保育のみならず、地域の子育て拠点として、今後、益々重要になります。国は少子化対策として、子育てと就労の両立支援を次々と打ち出していますが、保育の効率性や利便性のみを強調するだけで、十分な保育状況の整備を進めていません。そのため子どもの豊かな発達を促す保育環境や保育者の専門性、労働条件が蔑ろにされ保育の質が後退するのではないかとの不安が広がっています。

更に社会福祉基礎構造改革によって保育や福祉への民間営利企業の参入が進めば「安上がり保育」の競争が広がる等、保育の公共性が失われる心配があり

ます。子どもの人としての健やかな育ちと企業の営利追求は相反するもので共存は難しいと考えます。まずは直接の利用者である保護者に民間委託計画の説明と意見聴取を行って下さい。また、公立保育園を民間委託化することで見込まれるコスト効果について具体的な試算をされていると思いますので、それを市民に公開して下さい。それが出来ないうちに民間委託の対象園を発表するのはやめていただきたいと思います。

子どもたちは畑活動や園庭のひまわりハウス造成、保育士による手作りの置物、飾り付けや保育室の整備等、心温まる保育を受け、二宮保育園に通っていることを誇りに思い、日々明るく楽しく元気良く伸び伸びと育てております。二宮保育園は子どもたち、保護者にとっては無くては成らない存在です。以下の2点を要望項目といたします。

1. 公立保育園民間委託化に関して、直接の利用者である全保護者に計画の説明と意見聴取を実施して下さい。

2. 現状と同レベルの保育水準（保育士、看護師、栄養士、用務員、調理員を含む職員体制、アレルギー給食、障害児保育、時間外保育等の対応）を満たすためのコスト計算を明確にした上で、民間委託化にとって、どの部分がコスト削減になるとの試算を公開していただきたくお願いいたします。

この場で要望書をお渡しいたしますので、後日、回答書をいただきたくお願いいたします。

関連質問

船橋市の今後の子育て政策であるとか、保育園全般の政策プランであるとか、お伺い出来ればと思いますがいかがでしょうか。

回答

保育園の関係、今後の子育てのビジョンということではありますが、私どもの子育て支援部というところで担当しております。その中には、保育園を担当いたします保育課、母子家庭と一人親の方等を担当いたします児童家庭課、放課後ルーム、児童ホームを担当いたします児童育成課があります。子育て支援部で色々な施策を行っている訳ではありますが、基本的には、国の法律を受けまして、「子育て支援計画」というものをそれぞれの市町村が作るという事になっておりますので、その中でいろいろ市民の方のご意見もいただきながら、現在策定作業を進めております。今年度中に出来上がりますので、その中で17年度から出来るものから鋭意取組んで行く予定をしているところであります。

先程の保育園の関係、文書で後日ということではありますが、基本的には、民間で出来るものは民間にお願いするという考え方でやっております。既に皆様方ご承知のとおり、国も県もとよくいわれますが、船橋市も本当に大変な財政の時期にきております。そういった財政危機をどのように乗り越えるかという

ことにつきましては、やはりコスト削減を図って行かなければならないだろうということでもあります。ご質問の中で、「何ら報告されていない。」というお話しがありました。それにつきましては、大変申し訳ないと言わざるを得ないところでもあります。昨年の秋に財政健全化プランが出来まして、一応の方向性が出た訳ではありますが、その後、保育課を中心に今計画を練っているところでもあります。途中の段階で公表をとということもあろうかと思いますが、途中の段階で公表して、それが一人歩きという訳にはいきませんので、特にお子様のことでありますので、慎重の上にも慎重にということ今考えております。そういった中で、今の予定で申しあげれば平成 18 年度からということ考えておりますので、遅くない時期に皆様方を含め、市議会を含めまして全市的に公表して行きたいと考えているところでもありますので、今しばらくのお時間をいただきたいということでご理解をいただければと思います。

要望

18 年度から実施ということ色々と考え中ということですが、市民を早い段階から巻き込んでいただいて、決めた事をトップダウンで「こうなりました。」「こうします。」、というのでは、やはり上手く行かない部分もあると思うのです。子供たちを取り巻くものというのは、効率だけではお話できないものもありますので、是非、実際に関わっている保育士であるとか、父母であるとか、勿論、働きたくても子どもを預けられない待機児童が沢山いる訳で、そういった方々の親も含めて、時々こちらの方へ話を下ろす必要があるかと思うのです。他の自治体の民間委託化を見ていると、今年度までは公立だったのだけれど、来年度からは新しい企業なり、福祉法人なりの経営に変わるということで、建物と子どもだけが残されて、保育士がそっくり入れ替わるというのが殆どの契約です。それを私たち保護者は懸念しており、年度が変わって先生が変わるだけでも動揺するものを、全員が変わったらどうなるのかということ懸念しているのです。ですから、色々とプランを立てているかと思われませんが、なるべく頻繁にお話しをさせていただける機会があると良いと思っておりますので、宜しく願いいたします。

回答

ご要望は分かりましたので、出来るだけそのような形で取り組んでまいりたいと思います。ただ、公立保育園が 27 園あります。一方で約 2,500 人近くを私立保育園で保育を行っていただいておりますので、その辺も合わせてご認識いただければと思います。

下水道整備について

質問

現在、教習所前の道路で下水道整備の工事を実施されております。私どもが住んでいる地区は東金街道に面し、教習所通りから東側に位置している前原東2丁目地区であります。この地区に実際に下水道が敷設され利用できるようになるのが、平成何年頃になるのかということであります。

回答

現在、658メートルの間、いわゆる谷津幹線管渠の整備ということで実施しております。この幹線管渠につきましては、平成15年度から平成18年度までの4ヵ年事業により整備すべく現在工事中であります。枝管、いわゆる「面整備」については、平成18年度の事業が完了してからと考えていたところですが、昨日の台風により浸水被害がありましたので、一部につきましては平成17年度から面整備に入って行きたいと考えております。通常ですと下流側から順次整備して行くのですが、浸水対策というものも含めて面整備に着手して行きたいということで、平成17年度から整備に入りたいと思っております。

具体的に前原東2丁目には何年度に、どのような過程で整備されるのかということにつきましては、財政状況等の問題もありますので、明確なお答えは出来ない訳ではありますが、10年以内には全地区について整備に着手出来るようにして行きたいと考えております。

東金街道の大型車両通行について

質問

通称「東金街道」といわれております県道長沼・船橋線ですが、船橋市が管理する道路ではありませんが、中野木交差点から東へ、四街道に延びているこの道路に、最近海上コンテナや鉄材、コイルを満載した大型トレーラーが頻繁に通行するようになりました。この結果、県道は1メートル内外の歩道しかありませんので、歩行者「すれすれ」に大型車両が通行し、日常的に「ひやひや」する毎日を過ごしております。この発生原因の要因として何かということ素人ながら推量いたしますと、1つの原因といたしまして道路公団が管理いたします京葉道路の武石インターチェンジの出口に、大型貨物自動車の流出を禁止する標識が最近掲示されている事が分かりました。この規制により、本来なら武石インターチェンジを利用するはずの大型車両が1つ手前の花輪インターチェンジを出て中野木交差点を右折し、住宅が密集する東金街道を東進するという状況であります。この解決のためには色々難しい問題があると思いますが、どうか市長さんのお力で歩行者の安全が確保され騒音が少しでも改善された道路が実現されますよう武石インターチェンジの流出禁止措置が一日も早く解除さ

れ、静かな住環境が保てますように道路公団に強く働きかけていただきたいというお願いであります。

回答

武石インターの出口に大型流出禁止という看板が出たことから、東金街道に大型車が非常に通るようになったというお話ですが、これについては、周辺の道路状況を考えた中で出されたものかどうか、どのような状況下の中でこのようなものを出されたのか、また、船橋市の前原の方が困っている状況をご存知なのかどうか、一度日本道路公団の方にお聞きし、再度お話しをして行きたいと思います。

要望

本来であれば解決を図ったうえで接続すべきものだと思うのです。これを等閑にして現在密集地帯にトレーラーを流すようなことが本来なら許されない内容ではないかと思うのです。具体的に折衝されるにあたっては、この点についても全国的に余り例のないインターだと思うので、早急に善処的な措置が講じられるように市長さんはじめ皆さんが、市民の生活を守るという意味で具体的な折衝にあたって強く望んでいただきたいということをお願いしたいと思います。

成田街道の歩道整備について

質問

成田街道の溝板が近頃 2メートル位の長い物に換わって、大変スムーズに通れるようになり有り難いと思っています。しかし、瀬山先生方面が「ボコボコ」ですから、そっちの方も早く直していただければ有り難いと思っております。

回答

国道 296 号、通称「成田街道」ですが、色々と要望があり、平成 11 年度から県で逐次実施しております。現在、一部に長尺蓋に換えて歩きやすくしたり、或いはパイプを入れて舗装し部分的に枡を作って対応し、歩きやすくするという形に整備しております。市も県にお願いするだけでなく、何とか早く実施してほしいということで補助金を出しております。県も財政状況が非常に厳しいという中で、毎年毎年着実に実施して行きますとのお話を聞いておりますので、一日も早く行えるように引き続き県に要請してまいりたいと思っております。

公園整備について

質問

私の住んでいる前原西 7 丁目は中野木小学校区になります。1、2、5 年が 5 クラス、3、4、6 年が 4 クラスあり、総勢 900 人の大規模な小学校です。学校のグ

ランドはサッカーやバスケットのクラブ活動で自由に遊べる土地がありません。近所を散歩してみても幼児向けの遊具がある小さな公園、ゲートボール場があるのですが、子どもたちが体を動かして遊べるスペースはありません。結局、自宅前の道路で自転車に乗って遊んでしまったり、サッカーやドッジボールなどはやりたくてもすることが出来ません。そのため、折角外に集まってもゲーム機で遊んでいたりにしています。私が近所の3歳から10歳までの子ども7人と遊んだところ、皆「カゴメカゴメ」を唄えなくてビックリしました。それだけ集団で遊ぶ機会が減っているのだと思います。

今、子どもたちの生きる力を育てる、コミュニケーションが大事という話をよく耳にしますが、その力を育むためにも、仲良しのいつもの2、3人で遊ぶのではなく集団で何かをする場が大事と考えます。「あそこに行けば誰かがいて、何かして遊べる」、子供同士で自由に遊びを考え、自発的に遊べるスペースが欲しいです。是非、ドッジボールやキャッチボールが出来るように、高いフェンスに囲まれたグラウンドの整備を中野木小学校区にお願いいたします。

回答

船橋における公園の整備状況は、近隣市と比較して遅れている状況であります。船橋市みどりの基本計画に基づき公園の整備を進めているところでありますが、財政状況が厳しい状況でありますので、国庫補助金や3分の1の無償貸付が受けられます物納国有地の払下げ制度を活用して、身近な公園が少ない地区を優先に整備しているところであります。

ご要望がありました地区に適切な場所がないというのが現状であります。当地区は確かに公園が少ない地区であります。平成13年度に前原東2丁目地区の物納国有地を、国庫補助をいただき整備しております。その用地を整備するにあたりましては、約4億1,000万円近いお金を要しております。公園用地は、殆どが用地買収に掛かってくる訳であります。面積的にも普通の公園と違い、海松台公園は約1,300坪あります。

今お話しがあったのは、子どもさん達が自由に遊べるような広い公園を要望しているのではないかと思います。そのようなことで、前原地区につきましては、公園がまだまだ少ないということは承知しているところであります。ただ、前原西1丁目の札幌公園というのがあり、この公園を見ていただくと分かるのですが、周りがフェンスに囲まれて、ある程度遊戯が出来る公園であります。この公園は相続が発生いたしまして、現在物納手続きを進められております。前原地区では、先ず、この公園を買収し何とかして存続を図らなければいけないということで、来年度に計画をしております。そのような状況の中では、今、前原地区へ新たな公園整備ということは、なかなか難しいのではないかと思います。船橋市の中でも多くのところから要望がありますので、お話しがあ

りましたように、前原地区は海松台公園を造り、ここへきて札幌公園を整備し
存続させなくてはいけないということで、前原地区だけをということはできな
いことをご理解いただければと思います。

東部公民館の建て替えについて

質問

市内 23 コミュニティのうち現在 25 の公民館があり、海神公民館が 3 年程前
ですか出来まして、これをもって新しい公民館建設は終わりとして受け取って
おります。その後は従来の公民館を建て替えて行くというような方向であるよ
うに思われます。一番古いのは西部公民館で、昭和 40 年の建設で、17 年から
建て替えが行われるようであります。当東部公民館は 52 年度の建設というこ
とで、12 年遅い訳ですが、それからしますと、もし可能としますと平成 30 年
頃の再建というようなことになるのではないかと思います。現在、この東部公
民館は、恐らく船橋でも利用度の一番高い公民館ではないかと思えます。こ
れは交通の便が非常にいい訳です。ロビーに色々な掲示板がありますが、
見てみますと全然知らないような団体が沢山掲示してあります。場合によ
っては地元の人で無者が公民館を大変利用しているようです。誰か一人
地元の人間の名前を入れて公民館を借りて利用し、他の地域から大分来
ているようです。それを拒む訳ではないのですが、地元としても非常に要
求度が高いので、なるべく早く、もっと便利な、他所に比べて見劣りの
しない公民館を早急に造っていただければ有り難いと思えます。

回答

東部公民館の建て替えについては、おっしゃるとおり、25 館のうち建設
年度が最も古く、老朽化の著しい物から建て替えるということで進んで
おります。そして、公民館の中でも条件が異なります併設館等、条件等
の面を考慮しながら総合的な判断を行いまして、整備計画を立て、
建て替えに取り組んでまいりたいと思っております。

地方交付税について

質問

中核市というのは全国にあると思うのですが、地方交付税で成り立
っているという中で、船橋市の割合というのは高いのですか、低い
のですか。国から沢山お金を貰って予算を作ると思うのですが、
船橋市の地方交付税で維持しているという部分は高いのでしょうか。

回答

昨年、中核市になりまして県から 2, 500 程の事務が市の方にまいりました。

要は仕事量が増えたということです。地方交付税というのはルールがあり、例えば、学校とか人口とか色々な規模がありまして、それに基づいて税金がどの位入ってくるか。そして、それに基づく係数をかけてどの位の費用が掛かるか、そしてプラス、マイナスによって、マイナス部分については国から交付税を交付すると、そのようなシステムになっております。船橋市は昭和58年まで交付税を貰っていたのですが、その後、不交付団体、要は収入の方が多い、ルール上の計算ですが、多いということで貰ってなかったのですが、中核市になって仕事が増えたということで、昨年、45億円の交付税をいただきました。今年は少し減りまして、数字は定かではありませんが、34億円程交付税をいただいているというようなことであります。

工場誘致について

質問

非常に厳しい予算だというお話しをされていますが、どこの地区へ行ってもお金の掛かる要望ばかりだと思うのです。そうしますと、当然市としての努力、工場を誘致して税金を沢山取るとか、そのようなことも平行してやって行かないと「厳しい」「厳しい」という話だけであれば誰でも言えることであって、簡単なことだと思うのです。ですから、市長さんをはじめとして、今申した工場誘致とかいうものをまじめに考えて行かないと、船橋市そのものが、やはり先細りになってしまう。そのような考えは持っているのでしょうか。

回答

おっしゃるとおりでありまして、船橋の北部に「ハイテクパーク」という工業団地を造成いたしました。しかしながら、バブルが弾けて、大変企業も厳しいということで、当初予定通りなかなか企業が進出して来ないということで暫く空地のままになっていたのですが、県も努力しておりますが、市長も先頭に立って企業誘致をいたしまして、お陰様で数社進出して来ております。今後も引き続き企業誘致をしてまいりたいと考えております。

また、「スキードーム」の後に「イケヤジャパン」というスウェーデン家具の会社が進出して来る計画ですが、工事は、今「コアジサシ」という鳥が跡地に巣をつくってしまいましたので、自然保護団体等が今保護というものについて大変厳しい状況ですし、また、そのようなことは必要だと思いますので、それが巣立つまで工事が出来ないことから、「来年9月にオープン」まで決めていたのですが、それが延びて、再来年の頭になるのではないかというような状況であります。その企業も横浜にも出す計画をしているようですが、船橋に是非本社を持って来ようというようなことで、それも船橋に持って来ていただけないかというような事でもあります。

また、皆様ご存知かと思いますが、「建鐵」の後に「シャネル」が、研修棟で
すが進出し、そして本社機能ももって来ようというような事で、社長も努力し、
市長も先頭に立ってやっておりますので、そういう点では一步一步進んでおり、
また今後も努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解を願いたいと思
っております。

船橋市の特性について

質問

船橋市の「売り」というのは何なのですか。

回答

船橋は、海あり、山はないですが緑があります。残念ながら社会資本とい
いますか、道路とか下水道、下水道は普及率が50パーセントになりましたが、残
念ながら遅れている訳で、これはなかなか一長一短には出来ない訳ですが、活
気の面で、鉄道が9路線35駅あり、そのような中で乗降客を見ていただいても
県下で1、2、3、と上位入るほど、総武線の津田沼、船橋、西船橋、また、北習
志野もそうありますが、乗降客が大変多い訳です。そういう意味では相当の
若者なり、働いているサラリーマンの方、そのような方たちが、乗降客を含め
て、船橋に寄って来ている訳であります。そのような点では、まだまだこれか
ら発展の余地があるというようなことで、活気のある街だと思っておりますの
で、更なるご支援をお願いいたしたいと思っております。